

東京都関係機関及び大田区が開発を支援した障害者 スポーツ用具がパラスポーツに使用されています

東京都、大田区、公益財団法人東京都中小企業振興公社（公社）及び地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（都産技研）は、パラリンピックを見据え、障害者スポーツに供する優れた技術・製品の開発に取り組む中小企業や地域を支援してきました。

この度の東京2020パラリンピック競技大会において、各企業が開発した用具等が、出場するパラアスリートに使用されたことを、お知らせいたします。

詳細につきましては、別紙の大田区、公社及び都産技研の資料をご参照ください。

各機関は、今後もこのような中小企業の製品開発を支援していくとともに、障害者スポーツへの参加拡大などに寄与していきます。

【各支援事業】

- 1 大田区 別紙1**
地域連携型障害者スポーツ用具開発促進事業（障がい者スポーツ用具製品開発事業）
- 2 (公財) 東京都中小企業振興公社 別紙2**
次世代イノベーション創出プロジェクト2020（助成事業）
- 3 (地独) 東京都立産業技術研究センター 別紙3**
障害者スポーツ研究開発推進事業（公募型共同研究）

【問い合わせ先】

- | | |
|--|-------------------------|
| ○障害者スポーツ用具開発支援事業全般に関すること
産業労働局商工部創業支援課 | 電話03-5320-4735 内線36-520 |
| ○障がい者スポーツ用具製品開発事業に関すること
大田区産業経済部産業振興課 | 電話03-5744-1614 |
| ○次世代イノベーション創出プロジェクト2020（助成事業）に関すること
(公財) 東京都中小企業振興公社企画管理部助成課 | 電話03-3251-7894・5 |
| ○障害者スポーツ研究開発推進事業（公募型共同研究）に関すること
(地独) 東京都立産業技術研究センター企画部プロジェクト企画室 | 電話03-5530-2558 |
| 〃
経営企画室 | 電話03-5530-2521 |

公募型共同研究による開発品が パラスポーツに使用されています

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター(都産技研)は、障害者スポーツ用具の新製品開発支援を目的に「公募型共同研究」を2017年度から2019年度で実施しました。公募型共同研究先中小企業の成果品が東京2020パラリンピック競技大会で使われ、優秀な成績を収めました。



「バドミントン用車いす」
中小企業車いすメーカー

素早い動き、瞬発力を発揮する軽量化をマグネシウム合金とCFRP（炭素繊維強化プラスチック）で実現したバドミントン競技用車いす。

バドミントン シングルス・ダブルスで
金メダル3つ・銅メダル1つを獲得



「スポーツ用義足」
中小企業義足メーカー

これまでにない新しい形状で、大きな変形から生まれる推進力を持ちながら、重心が上部にあるトップアスリート向けのスポーツ用義足。

陸上競技200 mで銅メダル2つを獲得

対象	共同研究テーマ	実施年度
車いす	新素材を活用したバドミントン用車いす開発	2017年度 ～2019年度
義足	世界最速を目指したスポーツ用義足および関連技術の開発	2017年度 ～2019年度

公募型共同研究とは、都産技研が中小企業者に研究開発を委託(研究費を提供)すると同時に、その研究開発の一部を都産技研が分担(都産技研が保有するシーズの活用や施設・設備の利用等)して実施する共同研究です。

【お問い合わせ】 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
企画部プロジェクト企画室 TEL 03-5530-2558 FAX 03-5530-2400
企画部経営企画室 TEL 03-5530-2521 FAX 03-5530-2536

<https://www.iri-tokyo.jp/>